

# 学力向上の 取り組みを問う



答 「読み解く力」を推進している

**問** 学力向上の取り組みはどのようなものがあるか。

**教育長** 「生きる力」の基盤となる「読み解く力」と時代の変化に対応した資質・能力の育成を推進している。

**問** 南風原町の学力課題は何か。

**教育長** 算数、数学、英語に課題があり、学びの土台となる「読み解く力」が課題である。

**問** 教育基本法第1章第1条にあるように、教育の目的とは人格の完成にある。学校教育は知識のみでなく、体や心

の健康を害してはだめ、人と人とのつながりの中で生きていくことの徳育も重要とある。教育長の学力向上のビジョンを問う。

**教育長** 学力向上の部分では、読み解く力を真ん中に据え、生きる力を支える。中学校を卒業するまでに、読解できる力を育てていく。それが自立した学習者を育てることになり、全国平均にも届くような学力がつく。生きる力を育むことは、子どもたちの幸せを担うものである。これがビジョンである。

**問** 高校数学で、生徒が九九



伊佐 園恵 議員

を覚えていない、カッコつきの足し算や引き算ができていないことが少なくないと聞いた。例えば、九九ができなければ中学で因数分解ができない。つまりある生徒たちのサポートは不可欠と考える。基礎基本の重要性を、先

順位	外傷・障害名	発生頻度 (%)
1位	野球肘	13.3%
2位	オスグッド病	6.2%
3位	肩痛	5.6%

小学生における発生頻度が高いスポーツ外傷・障害(スポーツ庁)

生方へ周知してほしいがどうか。

**統括指導主事** 小中学校長会でも周知していきたい。

スポーツ少年団、指導者の研修は

**問** スポーツ庁の子どもの体力向上課題対策プロジェクトより、活動量の目安は、1日2〜3時間程度、1週間に2〜3日が無理のない活動とされている。子どもにとって、身体的・精神的に過度な負担がなく、意欲を持って参加できる活動量として推奨されている。スポーツ少年団は、指導者研修を行っているか。

**教育長** 年2回日本スポーツ協会公認の研修受講を推進している。

- 一こんな質問もしました
- 学校教育を問う
- こども計画を問う